

外装仕上材 キャンドルHi

メンテナンスについて

はじめに

「キャンドルHi」は無機質材料と混和液を合わせた外装仕上材です。建物の形状や立地条件などの環境により、日常的に外界に接している外壁は、ほこりや排気ガス、樹木の花粉や孢子などが付着します。これはサッシやベランダなどの手すり、笠木、水切りにも付着し、雨が降ると雨水に溶け込み、その雨水が雨垂れとなり、除々に汚れが集積し目立ってきます。この現象はキャンドルに限らず、どの外壁材でも起こり得る現象です。その為、雨掛かりの少ない納まりとする他に、日常のお手入れをこまめに行って頂き、汚れを発見したらお早めにお手入れを行うことで、長期に渡り、その美観を保つことが可能です。

日常のお手入れ・注意点

○ベランダの手すりや笠木部分、サッシ枠などのホコリや汚れは、気付いた時に雑巾等で拭き取っていただくと、雨垂れによる汚れが付きにくくなります。

○硬い物などをぶつけるとキズになりますのでご注意ください。

メンテナンススケジュール

	10年	20年	30年
定期点検 (ご様子による)	●	●	●
地震・台風	発生時にその都度点検		
汚れが目立つ時 材料の耐久性	汚れ洗浄 再塗装	塗り替え塗 材の耐久性 による	塗り替え塗 材の耐久性 による
クラック発生時	部分補修 又は 全面補修		

※環境条件や建物の仕様により異なりますのであくまで目安としてください。

メンテナンス方法

○汚れを落とすには？

●ホースなどで水を流し、たわしやブラシ等でかるくこすって汚れを落としてください。また凹部に汚れが溜まり、落ちにくい場合には、歯ブラシ等を使用してください。

(注)たわし・ブラシ等の使用時は、力を掛け過ぎないように軽くこすってください。強く又は数多くこすると骨材同士で研磨し合い仕上げ材が削れることがあります。

また、高圧洗浄機による水洗いも可能です。水圧は、5MPa以下で調整してください。ノズルと外壁洗浄面の距離をあけて、水圧調整を行ってください。水圧調整は目立たない部分で予め行ってください。

(水圧が強い場合や、特殊なノズルを使用した場合、洗浄圧が強く、骨材等の材料が剥がれることがあります。骨材等の材料が剥がれない圧力で行ってください)



たわし

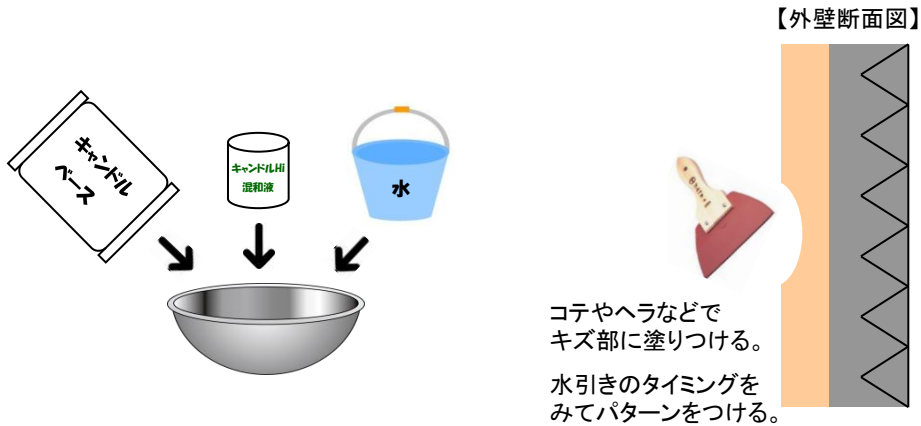


高圧洗浄機

通常の水洗いでは落ちにくい場合、中性洗剤を洗浄水に混ぜて洗浄をしてください。サッシや土台水切りなど金属部に液剤が残ると、変色や錆びが発生する場合がありますので、事前に養生を施し、洗浄後はしっかりと全体を水で洗い流してください。

【キズができた場合】

→キャンドルベースを、規定割合のキャンドルHi混和液及び水で練り混ぜます。キズの部分に塗り付けて水引をみてパターンをつけます。



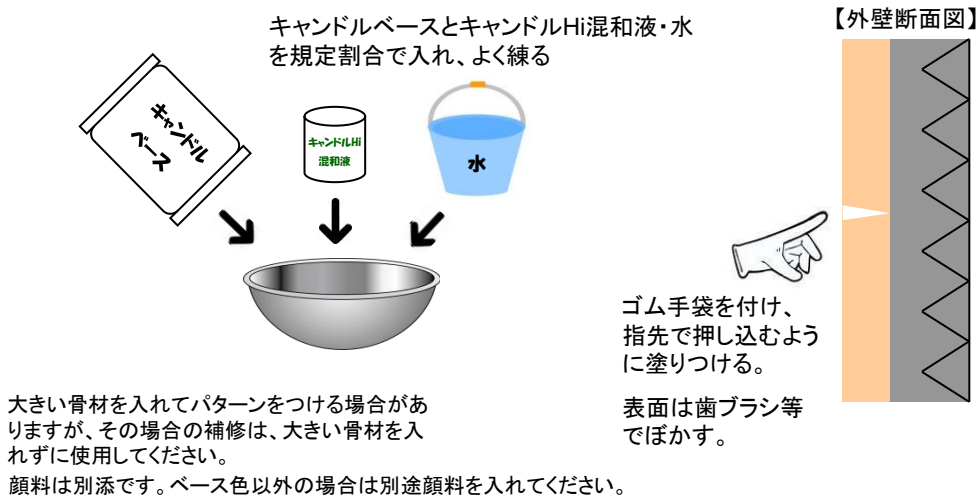
【小さな割れが発生した場合】

ひび割れが発生した場合には、部分的な補修も可能です。

ひび割れ幅0.3mmを超えないひび割れであれば、水分は浸入しにくいとされています。

ひび割れ幅が大きい場合や広範囲にわたる場合は専門業者に相談してください。

→ ゴム手袋を着用し割れ部に指先で押し込むように塗り付け、表面は歯ブラシ等でぼかします。



※キャンドルHiは、建物の揺れや構造材の乾燥による伸縮に対する追従性に限度があり、微細なひび割れが発生することもあります。材料の機能低下はなく、建物への影響はありません。

※部分補修を行うと、補修後の跡が目立ってしまうことがあります。

※施工時に余った材料を、密閉容器に取っておくと、補修が容易です。